

②③ 小学校 国語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)



次の文章を読み、(一)～(六)に答えなさい。

- (一) 文中の傍線部ア、オのひらがなの部分を漢字で書きなさい。
(二) 文中の A、B にあてはまる接続語を、次のア～オから一つずつ選び、その記号を書きなさい。

ア だから イ たとえば ウ しかし エ ただし オ あるいは

- (三) ①、②にあてはまる漢字二字の語句を文中から探して書きなさい。

- (四) 傍線部③「腑に落ちる」の意味で正しいものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 思いつく イ 考える ウ 納得する エ 連想する

- (五) ④にあてはまる語句を、文中から探して書きなさい。

- (六) 傍線部⑤「この錯覚」とはどのようなことか、本文の内容をふまえて四十五字以上六十字以内で書きなさい。

⑳ 小学校 国語

(解答は、すべて解答用紙に記入すること)

㉑

新小学校学習指導要領「国語」について、次の(一)～(三)に答えなさい。

(一) 「目標」について、次の①～③にあてはまる語句を書きなさい。

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、(①)を高めるとともに、(②)や想像力及び(③)を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

(二) 「各学年の目標と内容」の「B書くこと」について、次の①～④は、それぞれの学年で指導する内容か、該当する学年をあのア～ウから選び、その記号を書きなさい。

- ① 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。
- ② 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。
- ③ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。
- ④ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。

ア 第一学年及び第二学年 イ 第三学年及び第四学年 ウ 第五学年及び第六学年

(三) 「各学年の目標と内容」の第五学年及び第六学年の「A話すこと・聞くこと」にかかわる言語活動例について、次の①～③にあてはまる語句をあとのa～hから選び、その記号を書きなさい。

ア (①)を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。
イ 調べたことやまとめたことについて、(②)などを行うこと。
ウ 事物や人物を(③)したり、それを聞いたりすること。

a	図表	b	紹介	c	推薦	d	写真
e	討論	f	資料	g	発表会	h	メモ